

普及活動情勢報告（令和5年10月分）

高吾農業改良普及所

高糖度トマト出荷11月中旬頃スタート



2段階目着果の状況

JA高知県日高支所ハウス園芸部の高糖度トマト生産者20名が8月20日を中心に、定植し、10月中旬、4花房目の開花が始まっています。今年は、熱帯夜が続き、エルニーニョによる天候不良も想定されたため、普及所からは、灌水量を控えた栽培方法を指導してきました。

生産者からは「夜温の温度が高かったため灌水量管理が難しい」「日中猛暑が続いていたので着果が少し心配」などといった声が上がっていました。

高糖度トマトの出荷開始は、11月中旬頃を見込んでいます。

普及所は、高糖度トマトの生産出荷の安定に向け、月例会や個別巡回による指導を行っていきます。

ユズの園地巡回



生育状況確認の様子

9月26日、普及所は仁淀川町で今年からユズの栽培を始めた9名の園地を巡回し、本年3月に定植したユズの生育状況を確認しました。

普及所は、幼木の生育状況に合わせて、剪定で切り返す位置や施肥量などについて指導を行いました。

生産者からは、「虫の防除はどうすれば良いか」「生育が遅れているがどうしたら良いか」など質問があり、熱心に勉強していました。

普及所は、今後も定期的に巡回などを行い、仁淀川町でのユズの振興に取り組んでいきます。

地域を守る取り組みに向けて ～第2回集落営農塾の開催～



集落営農塾開催の様

10月16日、普及所は町村担当者を対象に、集落営農塾を開催しました。

町村と地域計画策定の進捗状況について共有した後、普及所と専門技術員から地域農業の維持に必要な担い手確保の考え方や参考事例を紹介し、意見交換を行いました。

町村からは、県内他地区の地域計画策定状況に関する質問のほか、圃場整備実施予定地区における担い手の状況や、地域外からの担い手確保に関する動き等について情報提供され、参加者と共有しました。

普及所は、引き続き町村と連携して、地域農業の振興に向けた取り組みを進めていきます。